　　 Scholar of the year candidate 9

ジュリー・アン・ブンガッグ (AH-195)

**人を救い共に未来を築く**

国家の文化や伝統はその国のイメージを反映し、他国と違うユニークな個性を与えてくれます。個人の価値観や生活習慣、信条や宗教などはその国と国民の在り方や倫理を大きく左右します。そして私達が一員であるこの社会は、自国だけでなく多国間にも大きな影響を与えます。各自の倫理、価値観、伝統、信条、宗教、そして文化こそが集合体としての国を築き、これまでの歴史や未来に重要な役割をもたらすのです。

フィリピンの歴史を振り返ってみますと、特定グループの人々が違った宗教を取り入れることによって国の基盤を築いてきました。彼らのお陰で、我が国は現社会における文化や伝統において非常に重要なアイデンティティーを持つことができました。

フィリピンには昔から現在に至るまで色々な先住民族や山岳民族が住んでいます。その中には我が国初期からいるアエタ族、マラナオ族、イゴロット、マンギャン族、

イバロイ族、ルマッズなど様々な民族が含まれています。

発展途上国であるフィリピンは、テクノロジーの動向に追いつく勢いを増しています。しかしその代償として、現在の我が国を造り上げる基盤となった（先住民族の）人々を忘れてしまっているのではないでしょうか。「開発発展」によって国民の苦悩や失望に答えを出すことは出来ず、貧困に陥った人々の暮らしを豊かにするという政府の約束も全く満たされていません。

国の人口の１５％はそのような人々で占められているのです。彼らは国内で最も貧しい社会集団に属しています。我が国の残り８５％の人口と比べて、文盲率、失業率、そして貧困率が最も高い部類なのです。医療、飲料水、政府が補助するべきである教育などへのアクセスが全くないため、羅漢率、死亡率、そして栄養失調などが多く見られる傾向にあります。私達と同じように教育を受け夢を叶える為に必要な技術や知性を持っているのに、彼らは社会から過小評価され貶されさえしているのです。きちんとした教育を受け人生を全うするための努力をする機会も与えられないのはとても不運なことです。

政府は、先住民族の間で増加し続ける貧困を阻止し供給するための対策を立てているはずなのですが、まだまだ支援が足りていません。私は幸運なことに今まで色々な機会に恵まれてきました。その恩恵をこれからはフィリピン各地で疎んじられている先住民族の人々のために役立てていきたいと思っています。

貧困のなかにおかれた人々にとって、教育こそが成功へのただ一つの解決策です。「魚を与えるのではなく、釣り方を教えよ」ということわざにあるように、教育を受ける機会を与える事で彼らの人生を変えることができると思います。希望を持って生きるだけでは足りないのです。知識を会得することで人生の困難も乗り越えていけるのではないでしょうか。

今まで幸運に生きてこられた事に感謝し、これからは私がそのお返しをする番です。自分の財団を始めることによって、不運な人々が教育を受ける為の支援や、色々な機会を儲ける場を作ってあげられると思います。そして、先住民族の人々は無知ではないということを社会に証明したいです。教育は皆に均等に与えられるべきものであり、先住民族の彼らも、エンジニア、医師、教育者、パイロットなど、なりたいものに何でもなれるべきなのです。社会に決めつけられた以上の事を出来るでしょうし、明るい未来を造り上げられるのです。

花や植物が水や二酸化炭素や日光を与えることで美しく成長するように、我々も良質な教育を栄養素のように求め、いずれは美しい花を咲かせる種と同じです。貧しい人々がいつかはより良い暮らしが出来るような「開発発展」をしていきたいです。

この世の誰しもが夢を持っており、先住民族の彼らも私達と違わないのです。個人の成功は、部族の成功にも繋がります。そこから、新しい人生が始まり、先住民族の人々は何でも出来るのだということが証明されるでしょう。

フィリピンには様々な方面で国を先導する力を持った素晴らしい人材で溢れています。私の目標は、国の１５％を占める貧しい人たちのためだけではなく、国全体のために貢献することです。私が恩恵を受けたように、私も人々にその恩恵をお返しできればと思っています。

私の貢献方針は、先住民族について周りに理解を促すことだけでなく、先住民族の人々が生涯使うことのできる「教育」という名の「魚の釣り方」を与えることです。それによって、文化や信仰の違いに関わらず、フィリピン人はお互いをサポート出来るのだという事を示していきたいです。

年齢や性別や障害のあるなしに関係なく、誰もが制限なしに支援できると信じています。人生は短いものです。利己的に生きるべきではないでしょう。

先住民族がその昔始めたように、私たち若い世代も現状を変えるために動き始める時がやってきました。それによって、困難で不利な立場にいる人が、自分たちも良い人生を築く事ができると感じられるのではないかと思います。